

へる。
ワカバヤシビン 若林敏 香雪又は香雪山樵と號した。書を長井陶齋に學んで、初は董其昌を祖とし、後にはその機軸を變じた。人となり溫和、金澤堅町に寺子屋を營んだ。明治維新前後の人。

ワカハラ 若原 能美郡輕海郷に屬する部落。

ワカベ 若部 羽咋郡本江の内の小字。明曆二年八月朔日前田利常の印書に、『羽咋郡本江村若部村境村物成之事』とあるから、當時は獨立の部落であつたらう。

ワカベホ 若部保 羽咋郡に在つた。承久三年注進の能登國田數目録に、『若部保、壹町、承久元年檢注田定』と見える。後世亦若部保がある。

ワカベホ 若部保 羽咋郡に屬し、藩政時代では、詳しくは邑知院内若部保といひ、本江・志々見の二ヶ村を含んでゐた。

ワカマツ 若松 河北郡金浦郷に屬する部落。

ワカマツアメ 若松館 河北郡若松で製した。元祿七年の書上には、『加賀郡若松村冬より春迄あめ仕候。則若松あめと申候。』とあり、文政の加賀往來には若松棒飴とも見える。金澤觀音町御用館屋彌三助の家傳に、その先祖は越前坂井郡本庄城主堀江中務丞景忠の子孫で、加賀に來り若松に住し、家法の飴を製し初めたが、後には金澤に出て町人となり、飴を製することを職業としたとある。若松館は之と系統を同じくするものであらう。

ワカマツシヨウ 若松庄 河北郡に在つた。文和三年十二月九日附の文書に、『下狩野伊豆

守義茂可令早領加賀國若松庄地頭職備後彦事。右爲勤功之賞所施行也。』と見え、一向一揆の頃の光濟から吉城越後守に宛てた書状にも、『先度者御寺領若松庄之事、自守護方就申事御懇奉仰候。』とある。漸得雜記には、『若松庄十八ヶ村、堅鈴見・若松より申村、横饒子口まで。今改金浦郷。』として居る。

ワカマツジヨウ 若松城 河北郡若松に在つた。龜尾記に、若松に城跡があつて掃部屋敷といふと記する。

ワカマツボウ 若松坊 ↓ホンセンジ 本泉寺。

ワカミドリ 若緑 河北郡金津庄に屬する部落。

ワカミヤ 若宮 石川郡戸板郷に屬する部落。

ワカミヤデ 若宮出 石川郡戸板郷に屬する部落。

ワカミヤハチマンジンジャ 若宮八幡神社 石川郡松任に鎮座する。式内等舊社記に、『若宮八幡神社。山島郷松任町鎮座。舊社也。』と見え、元祿十三年の草庵集に、『石川郡松任の東八町ばかりに入幡宮あり。其かみ富樫の被官山上某、奇瑞の事ありて鎌倉の若宮を勸請の地なりとかや。此森の櫻盛の頃は言葉に堪へたり。黒ぼこに年々こえて櫻哉 句空。』とある。

ワカミヤハチマンジンジャ 若宮八幡神社 石川郡上林に鎮座する。白山宮莊嚴講中記録觀應三年四月白山宮の大衆神輿を上林の地頭玄猷の館に振入れたことを記した段に、大宮の神輿を若宮といふ處に振捨て、歸つたたるもの即ち是である。式内等舊社記にも、『若

宮八幡神社。林郷上林村鎮座。今稱八幡宮。舊社也。』とある。今林郷八幡神社と稱する。

ワカミヤハチマンジンジャ 若宮八幡神社 羽咋郡今濱に鎮座する。式内等舊社記に、『若宮神社。大海郷今濱村鎮座。舊傳云。相見神之御子神也。今稱若宮八幡宮。』とある。

ワカミヤハチマンジンジャ 若宮八幡神社 鹿島郡飯川・下の入會地に在つた。今久志伊奈太伎比咩神社といふ。式内等舊社記に、『若宮八幡神社。飯川保飯川村鎮座。舊傳云。往古石清水神領也。故勸請云。』と載せる。

ワカモノシヨウガツ 若者正月 能登では、舊一月十五・十六日を若者正月といひ、この日敷入を行うた。

ワカヤマ 若山 珠洲郡若山庄に屬する部落で、村御印にも若山村とあるが、後に延武と改めた。和名抄に見える若倭郷の本郷であらう。

ワカヤマガハ 若山川 珠洲郡八太郎峠附近に發源して東流し、中田に於いて南方より支流を容れ、餘内に至つて北方より支流を受け、南折して飯田の東方を經、海に入る。流程一六軒。能登名跡志に、『又飯田川とてあり。若山川ともいへり。』とある。

ワカヤマゴウ 若山郷 珠洲郡に在つた。馬禊村本光寺文書貞治二年五月廿日島田六郎光次の判書に、『寄進馬禊浦本光禪寺免田之事。合一段者、在坪は若山郷下包正名内路所々。』と見える。この若山郷は、承久三年注進の能登國田數目録にある若山庄のことであらう。

ワカヤマシヨウ 若山庄 珠洲郡に在つた。承久三年注進の能登國田數目録に、『若山庄、

五百町、康治二年立券狀』と見え、法住寺藏康元・文永・建武等の文書にも散見する。又鳳至郡東村八幡寺所藏大般若經與書に建曆二年二月日願主若山御庄内大谷住平兼基とあり、康永以降の本光寺文書に若山庄西海浦恒利名があり、永享九年の海會寺文書に若山庄西海馬禊村があるによつて、若山庄の區域が郡の外浦海岸まで擴張してゐたことが知られる。

ワカヤマシヨウ 若山庄 珠洲郡に屬し、藩政時代では、北山・上山・洲卷・白瀨・南山・黒丸・吉池・三子・上正力・宗末・中・大坊・内山・延武・國兼・向・火宮・中田・古藏・經念の二十ヶ村を含んで居た。

ワカヤマトゴウ 若倭郷 珠洲郡の古郷名。若倭は當に和加夜萬登と訓むべく、後の若山庄はその轉訛であらう。

ワカヤマノフタケ 若山の延武 ↓ノブタケ 延武。

ワカンシヨシクンカイ 和漢諸氏訓誡 大野木克明が天和三年廿九歳の時に編したものの。克明は世人の理に關して事に迷ふを歎き、和漢先賢の古訓・格言等を抄出したものであるといふ。

ワカンブンソウ 和漢文藻 一冊。美濃の支考の著で、俳文を集めたものであるが、それが金澤で撰ぜられたことは、麥水の山中夜話に、『風曲亭は加州金澤安江町、則和漢文藻の撰場なり。』とあるによつて知られる。享保十二年板行。

ワギ 和義 咄隨筆に、和義は草深甚四郎より慶藏院・松平直次右衛門・二本新十郎と續き、新十郎の弟子萩原十藏が越前より金澤に來るに及んで、その術大に行はれ、十藏の門

ワカ—ワキ